

資 料

## 女性医師のキャリアデザイン—出産・子育てを中心に

野田 龍一<sup>1)</sup>, 石井 慧<sup>1)</sup>, 伊藤 萌<sup>1)</sup>, 嘉村 実裕子<sup>1)</sup>,  
佐治 龍<sup>1)</sup>, 游 昌子<sup>1)</sup>, 水嶋 春朔<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 横浜市立大学医学部 医学科 4年, <sup>2)</sup> 横浜市立大学医学部 社会予防医学

**要 旨:** 横浜市立大学医学部医学科同窓会 (倶進会) に所属する女性医師 (1,107名) を対象に, 卒業後のキャリアおよび出産・子育てに関する経験について質問票による調査と半構造化面接による質的調査を行った. 浮かび上がってきたキャリアデザインの一例は, まず専門医を取得するための臨床経験を積み重ねる過程で, 結婚し, 妊娠にいたり, 産休期に専門医取得試験に向けての勉強をし, 復帰までに専門医を取得する. 復帰後はワークシェアや非常勤としてキャリアを積み, 子供の手がかかなくなってから常勤として復帰する. しかし, 結婚や出産は個人の希望通りにいくものではない. どんな時期に結婚, 出産しても出産・子育てと仕事を両立できるようなサポート体制が整備されることが望まれる. また, 医学部定員の3割を占める女子医学生が, 学生期から一人一人自身のキャリア形成について深く考えることが必要である.

**Key words:** 女性医師 (female doctor), 子育て (raising children), 出産 (labor and delivery),  
キャリアデザイン (career design)